

## II - 16 一様断面開水路における不等流函数表について

中央大学理工学部 正員 春日屋 伸昌

開水路不等流の運動方程式は、 $i$ を底こう配、 $h$ を水深、 $V$ を平均流速、 $C$ をシェジーの流速係数、 $R$ を径深、 $g$ を重力加速度、 $\alpha$ を補正係数とし、流れの方向に $x$ 軸をとると、

$$i - \frac{dh}{dx} = \alpha \frac{d}{dx} \left( \frac{V^2}{2g} \right) + \frac{V^2}{C^2 R} \quad (1)$$

流水断面積を $A$ 、水面幅を $B$ とし、等流水深 $h_0$ および限界水深 $h_c$ に対応する量にはそれぞれ添字 $0$ および $c$ をつけて(1)式を変形すると、

$$\frac{dh}{dx} = i \frac{1 - (C_0/C)^2 (R_0/R) (A_0/A)^2}{1 - (B/B_c) (A_c/A)^3} \quad (2)$$

プレッセ公式とトルクミット公式とは、いずれも $C = C_0$ と仮定して、(2)式より、

$$\frac{dh}{dx} = i \frac{1 - (R_0/R) (A_0/A)^2}{1 - (B/B_c) (A_c/A)^3} \quad (3)$$

さらに、プレッセ公式では、幅広長方形断面を考えれば $R \approx h$ が成立するから、

$$\frac{dh}{dx} = i \frac{1 - (h_0/h)^3}{1 - (h_c/h)^3} \quad (4)$$

(4)式を積分し、既知の水深 $h_0$ の地点と任意の水深 $h$ の地点との距離を $\ell$ とすれば、

$$\ell = \frac{h_0}{i} \left| (u_i - u) - \left\{ 1 - \left( \frac{h_c}{h_0} \right)^3 \right\} \{ B(u_i) - B(u) \} \right| \quad (5)$$

ここに、 $u = h/h_0$ 、 $u_i = h_i/h_0$  であって、プレッセ函数 $B(u)$ は、

$$u < 1; B(u) = \int_0^u \frac{du}{1-u^3} = \frac{1}{6} \ln \frac{u^2+u+1}{(1-u)^2} + \frac{1}{\sqrt{3}} \tan^{-1} \frac{2u+1}{\sqrt{3}} - \frac{\pi}{6\sqrt{3}} \quad (6_1)$$

$$u > 1; B(u) = \int_{\infty}^u \frac{du}{1-u^3} = \frac{1}{6} \ln \frac{u^2+u+1}{(u-1)^2} + \frac{1}{\sqrt{3}} \tan^{-1} \frac{2u+1}{\sqrt{3}} - \frac{\pi}{2\sqrt{3}} \quad (6_2)$$

また、トルクミット公式では、放物線形断面を考えれば $B \propto h^{1/2}$ 、 $A \propto h^{3/2}$ 、 $R \propto h$  が成立するから、(3)式より、

$$\frac{dh}{dx} = i \frac{1 - (h_0/h)^4}{1 - (h_c/h)^4} \quad (7)$$

$$\therefore \ell = \frac{h_0}{i} \left| (u_i - u) - \left\{ 1 - \left( \frac{h_c}{h_0} \right)^4 \right\} \{ T(u_i) - T(u) \} \right| \quad (8)$$

ここに、トルクミット函数 $T(u)$ は、

$$u < 1; T(u) = \int_0^u \frac{du}{1-u^4} = \frac{1}{4} \ln \frac{1+u}{1-u} + \frac{1}{2} \tan^{-1} u \quad (9_1)$$

$$u > 1; T(u) = \int_{\infty}^u \frac{du}{1-u^4} = \frac{1}{4} \ln \frac{u+1}{u-1} + \frac{1}{2} \tan^{-1} u - \frac{\pi}{4} \quad (9_2)$$

ブレッセ・トルクミットの仮定  $C = C_0$  の代わりに、物部・バクメテフ・チヨーの各公式では、 $C$  をマニング公式で書きかえて ( $C = R^{1/6}/n$ )、同公式中の粗度係数  $n$  を水深に関して定数であると仮定する。そうすると、(2)式はつぎのようになる。

$$\frac{dh}{dx} = i \frac{1 - (R_0/R)^{4/3}(A_0/A)^2}{1 - (B/B_0)(A_0/A)^3} \quad (10)$$

ここで、 $A \propto h^s$ ,  $P \propto h^k$  ( $P$ : 激波の長さ) とおけば、

$$\frac{i}{h} dx = \frac{u^n}{u^n - 1} du - \left(\frac{h_0}{h}\right)^M \frac{u^{N-M}}{u^n - 1} du \quad \left. \right\} \quad (11)$$

$$u = h/h_0, N = 2s + \frac{4}{3}(s - k), M = 2s + 1$$

ところで、

$$\frac{u^n}{u^n - 1} du = \left(1 - \frac{1}{1-u^n}\right) du = du - \frac{du}{1-u^n} \quad (12_1)$$

$$\frac{u^{N-M}}{u^n - 1} du = -\frac{1}{S} \frac{dv}{1-v} [v = u^s, S = N - M + 1, J = \frac{N}{S}] \quad (12_2)$$

であるから、(11)式を  $x$  に関して 0 から  $i$  まで、 $u$  に関しては  $u$  から  $1$  まで (常流の場合) または  $u$  から  $1$  まで (射流の場合) 積分すれば、つぎの一般式がえられる。

$$\ell = \frac{h_0}{i} (u_i - u) - \{F(u, N) - F(u, M)\} + \frac{1}{S} \left(\frac{h_0}{h}\right)^M \{F(u, J) - F(v, J)\} \quad \left. \right\} \quad (13)$$

$$u = h/h_0, u_i = h_i/h_0; A \propto h^s, P \propto h^k, N = 2s + \frac{4}{3}(s - k), M = 2s + 1, S = N - M + 1, J = N/S; v = u^s$$

ここで、不等流函数  $F(u, N)$  はつぎのように定義される。

$$F(u, N) = \int_0^u \frac{du}{1-u^n} (u < 1), F(u, N) = \int_u^\infty \frac{du}{1-u^n} (u > 1) \quad (14)$$

上の一般式において、 $N = 3, M = 3$  または  $s = 1, k = 1/4$  とすればブレッセ公式が、 $N = 4, M = 4$  または  $s = 3/2, k = 3/4$  とすればトルクミット公式がえられる。

放物線形断面に対しては、 $s = 3/2, k = 1/2$  ( $R \propto h$  であるから) とおいて、

$$\ell = \frac{h_0}{i} (u_i - u) - \{F(u, \frac{13}{3}) - F(u, \frac{13}{3})\} + \frac{3}{4} \left(\frac{h_0}{h}\right)^4 \{F(u, \frac{13}{4}) - F(u, \frac{13}{4})\} \quad (15)$$

三角形断面に対しては、 $s = 2, k = 1$  とおいて、

$$\ell = \frac{h_0}{i} (u_i - u) - \{F(u, \frac{16}{3}) - F(u, \frac{16}{3})\} + \frac{3}{4} \left(\frac{h_0}{h}\right)^5 \{F(u, 4) - F(u, 4)\} \quad (16)$$

幅広長方形断面に対しては、 $s = 1, k = 0$  ( $R \propto h$  であるから) とおいて、

$$\ell = \frac{h_0}{i} (u_i - u) - \{F(u, \frac{10}{3}) - F(u, \frac{10}{3})\} + \frac{3}{4} \left(\frac{h_0}{h}\right)^3 \{F(u, \frac{5}{2}) - F(u, \frac{5}{2})\} \quad (17)$$

筆者は、 $N = 5/2, 3, 13/4, 10/3, 4, 13/3, 16/3$  のおのおのに対し、引数  $i$  を  $0.00(0.01) 1.50(0.05) 2.0(0.1) 3.0(0.5) 5(1) 20(5) 50$  として小数点以下4桁までの数値表を完成した。殊に(17)式は自然河川に対し有用であろう。